

子供たちに伝えたい 日本の良さ

平成 31 年 3 月発行(第 45 号)

東京都教育庁指導部指導企画課
教育経営・教育課程担当

私たちの生活は、様々な資源から成り立っています。

しかし、資源には限りがあり、持続可能な社会づくりに向けて、一人一人が資源の使い方について課題意識をもち、考えていかなくてはなりません。

その昔、江戸の町では、様々な場面において資源を有効活用し暮らしてきました。江戸時代から受け継がれている資源活用の例を見て、現代の資源活用の取組との共通点を考えてみましょう。

今月のテーマは、リサイクルです。

江戸時代の衣類のリサイクル

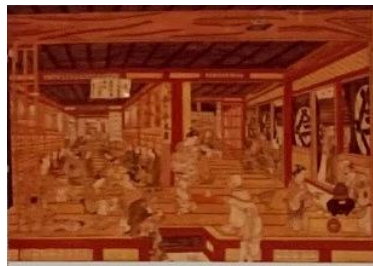
江戸時代は、衣類を長く着ることが当然のこととされ、衣類の役目を終えた生地についても、最後まで有効活用されました。

行商の古着売り店・端布売り



(竹馬の布売り)

呉服屋・木綿店



(呉服屋の店内)

古着屋



(柳原土手の古着屋)

●反物・着物・端布・古着を手に入れる。

家庭

【長く使う工夫】

- 破れたり、ほつれたりした箇所を、**修繕**する。
- 暑さ及び寒さ対策のため、**補強**する。
- 自分のサイズに合うように、**仕立て直し**する。
- 子供用に、**サイズダウン**を行う。
- ひどく汚れた場合や、仕立て直しをする前には、**縫い目をほどいて洗う**。

●衣類として使えなくなると。

おむつや
雑巾として使う。

かまどのたき付けとして使う。

灰になり**肥料**とな
って土にかえる。

資源を大切にするために、様々な用途を考え最後まで活用していく知恵がありました。この他にも、どのようなリサイクルがあったのでしょうか。

江戸の町を見てみよう

江戸の町は「両側町」と呼ばれ、両側に家屋が建ち並ぶ通りを挟んで向かい合う区画を一つの町としていました。江戸の町を見てみると、環境に優しい暮らしを思い浮かべることができます。



裏長屋の一角に、井戸・ごみ溜め・雪隠（せっちん）がまとまって設けられ、長屋の住人はこれらを共同で使用しました。

雪隠



便所も長屋の各戸になく、惣雪隠（そうせっちん）あるいは惣後架（そうこうか）と呼ばれる便所を使いました。糞尿は近郊の農家に取りに来て、肥料としました。

ごみ溜め



ごみとなるものは、現在に比べるとかなり少なかったようです。現在のごみ収集場と比べてどう思いますか。

参考：江戸東京博物館常時展示図録【図表編】—図表で見る江戸東京—
江戸東京博物館常時展示図録【模型編】—模型で見る江戸東京—

現代の私たちも、環境への負担が少なく、将来に渡って人間も生物も安心して生きていくことができる社会を目指していくことが必要です。

「3R」という言葉を知っていますか。資源を大切に使うためのポイントとなる三つの行動の、それぞれの英単語の頭文字「R」をとって、「3（スリー）R（アール）」といいます。

Reduce（リデュース：廃棄物の発生抑制）

省資源化や長寿命化といった取組を通じて製品の製造、流通、使用などに係る資源利用効率を高め、廃棄物とならざるを得ない形での資源の利用を極力少なくする。

Reuse（リユース：再使用）

一旦使用された製品を回収し、必要に応じて適切な処置を施しつつ製品として再使用を図る。または、再使用可能な部品の利用を図る。

Recycle（リサイクル：再資源化）

一旦使用された製品や製品の製造に伴い発生した副産物を回収し、原材料としての利用（マテリアルリサイクル）または焼却熱のエネルギーとしての利用（サーマルリサイクル）を図る。

三つのRの考え方を、江戸の資源活用の例から探してみましよう。

東京都の環境保全に向けた取組

チームもったいない

「チームもったいない」は、食品ロスやレジ袋の削減、省エネなどの取組や行動を通じて、一人一人の「もったいない意識」を高め、消費行動を変えていくことを目的に、2018年8月1日に発足しました。

活動の趣旨に賛同いただける企業や NGO 等の団体の皆様、個人の方々に参加いただき、「食料」「資源」「エネルギー」の3分野の有効利用に関する活動を通じて、もったいないの意識を広めていきます。皆さんも是非御参加ください。



毎日の生活の中で、
“もったいない”と感じることはありませんか？
一人ひとりの意識と行動が変われば、
環境にやさしい社会をつくることができます。
チームもったいないは、
そんな未来を目指します。

東京都環境局

参考：東京都環境局 <http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/index.html>

日本の環境保全に向けた取組

家電リサイクル法とは

「特定家庭用機器再商品化法」の通称。一般家庭や事務所から排出された家電製品(エアコン、テレビ(ブラウン管、液晶・プラズマ)、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)から、有用な部分や材料をリサイクルし、廃棄物を減量するとともに、資源の有効利用を推進するための法律です。

食品ロス削減国民運動 (NO-FOODLOSS PROJECT)

「食品ロス」とは、食べられるのに捨てられてしまう食品をいいます。食品ロスを削減して、食品廃棄物の発生を減らしていくことが重要です。農林水産省では、食品ロス削減に向けた啓発活動等の取組が行われています。

参考：経済産業省 https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/kaden_recycle/index.html
農林水産省 http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/161227_9.html

世界の環境保全に向けた取組

持続可能な開発目標 (SDGs)

平成 27 年 9 月の国連持続可能な開発サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された国際目標のことです。持続可能な開発目標 (SDGs) 17 のゴールのうち、環境省では、「赤文字は少なくとも環境に関連している 12 のゴールである」と示しています。

1. 貧困の撲滅
2. 飢餓撲滅、**食料安全保障**
3. **健康・福祉**
4. 万人への**質の高い教育**、生涯学習
5. ジェンダー平等
6. **水・衛生**の利用可能性
7. **エネルギー**へのアクセス
8. 包摂的で**持続可能な経済成長**、雇用
9. 強靱なインフラ、**工業化・イノベーション**
10. 国内と国家間の不平等の是正
11. 持続可能な**都市**
12. **持続可能な消費と生産**
13. **気候変動**への対処
14. **海洋**と海洋資源の保全・持続可能な利用
15. **陸域生態系、森林管理、砂漠化への対処**、**生物多様性**
16. 平和で包摂的な社会の促進
17. 実施手段の強化と持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップの活性化



参考：環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/earth/sdgs/index.html>

関連書籍・イベント等紹介

東京都立中央図書館

平

成

を

ふ

り

か

え

る

ミニ展示「本の平成 ～出版・書店・図書館～」

平成 31 (2019) 年 3 月 22 日(金)から同年 5 月 8 日(水)まで 3 階室内展示
出版不況、電子書籍、ネット通販…平成の 30 年は、本の世界でも大きな変化のあった時代でした。本の現在と未来に関する資料を展示します。

トピック展示「デジタルの平成史」

平成 31 (2019) 年 3 月 22 日(金)から同年 5 月 8 日(水)まで 2 階閲覧室入口付近
パソコンや携帯電話など、デジタル機器が驚異的な発展を遂げた平成。当時のマニュアル本などで歴史を振り返ります。

トピック展示「平成の東京 1989-2019 Part2【変貌篇】」

平成 31 (2019) 年 3 月 8 日(金)から同年 5 月 8 日(水)まで 1 階都市・東京情報コーナー
東京府開設より 150 年、明治・大正・昭和・平成と四つの時代を経て、東京も新しい時代を迎えます。本展示では、東京の平成 30 年間を当館所蔵資料で振り返ります。Part2【変貌篇】では、都市計画や再開発によって劇的に変化した都市東京の様子を絵葉書や写真資料等で御紹介します。

トピック展示「時代を映す鏡＝雑誌でふりかえる「平成」」

平成 31 (2019) 年 3 月 22 日(金)から同年 6 月 10 日(月)まで 1 階新聞閲覧コーナー
平成の 30 年間を、様々なテーマの雑誌 30 冊で振り返ります。
是非お手に取って中も御覧ください。

- ・ 3 月 22 日～4 月 3 日 テレビ CM
- ・ 4 月 5 日～4 月 17 日 スポーツ
- ・ 4 月 18 日～5 月 8 日 映画
- ・ 5 月 10 日～5 月 23 日 ファッション
- ・ 5 月 24 日～6 月 10 日 休刊・廃刊雑誌

【テーマにおける引用・参考文献資料、写真提供】

- ・ 江戸東京博物館
- ・ 東京都環境局
- ・ 経済産業省
- ・ 農林水産省
- ・ 環境省

※ 本資料に対する御意見・御感想、本資料の活用実践等がありましたら、右記担当へ御連絡ください。
今後の資料作成の参考とさせていただきます。

【担当】東京都教育庁指導部指導企画課
電話 03-5320-6869
ファクシミリ 03-5388-1733